

## 令和4年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業実績一覧表

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
1	青森市	①人材育成	青森市地域ねぶた復興プロジェクト	公益社団法人青森青年会議所	1,313	青森市内の地域ねぶたの衰退を食い止めるため、跳人・運行等の確保はできるが、ねぶた制作ノウハウがない3地区に対して、自前で制作ができるよう技術指導等を含めたねぶた制作・運行支援を行う。 【事業内容】①地域ねぶた制作支援 ②地域ねぶた運行支援
2	青森市	③商品開発	コロナ対策のための動画配信と飛沫防止パネルの開発2022	特定非営利活動法人おどろ木ネットワーク	728	「湾曲型飛沫防止スクリーン」の商品化、市場・販路開拓を推進するため、加工技術の改善、組み合わせ・連結方法の改善、生産コスト低減に取り組む。また、県内のものづくりの気運を高めるため、木工職人の家具づくり動画制作・配信や展示会出展等によるPR活動を行う。 【事業内容】①飛沫防止パネルの商品化 ②展示会への出展 ③動画制作・配信 ④ワークショップでの実践 ⑤会議開催及び市場調査
3	青森市	⑤観光開発	「新町ねぶた七夕」プロジェクト事業	青森市新町商店街振興組合	1,289	未来を支える学生や子どもたちとワークショップを開催し、ねぶた色の七夕飾り「新町ねぶた七夕」を商店街アーケードに設置することで、制作に携わった人、新町商店街に訪れる市民・観光客の来客意識向上につなげる。 【事業内容】①「新町ねぶた七夕」制作
4	青森市	⑤観光開発	浅虫温泉セラピーエリア事業	一般社団法人浅虫温泉観光協会	1,393	浅虫温泉地区全体をセラピーエリアとして、より意識付けするための取り組みとして、地域資源を活用できるセラピーガイドを育成する。また、ホテル、旅館との連携をさらに強化しつつ、宿泊を伴うコンテンツとして蛍を活用したインセクトセラピー観光メニューを開発し、国内外からの誘客による地域経済の活性化に取り組む。 【事業内容】①地域資源を活用できるセラピーガイド育成 ②宿泊を伴うセラピーメニュー開発
5	青森市	⑥スポーツ・文化交流	ダンボリアン2022年度事業	ダンボリアン実行委員会	1,975	段ボールを用いた造形作品を展示・鑑賞するイベント「ダンボリアン」とダンボール作品による特撮夏祭り「特夏祭」をより、魅力的なイベントとして県内で継続的に開催していくため、イベント開催に加えて、新たにオリジナル商品の開発や参加者獲得に向けたPR活動を行う。 【事業内容】①ダンボリアンの商品開発事業 ②集客イベントの開催 ③動画イベントの開催 ④ブランド化やイベント参加者獲得等に向けたPR活動
6	青森市	⑥スポーツ・文化交流	空手道多流派 交流会	全日本空手道連盟 錬武会・円心会	1,368	空手道を通じて子どもたちの基礎精神力や基礎体力の向上と、心の強さを育成していくことを目的に、多流派が参集する空手道交流会を開催し、子ども達の意欲を盛り上げていくとともに、空手道の普及拡大を図る。 【事業内容】①空手交流会の開催 ②栄養セミナー・社会教育セミナーの開催
7	青森市	⑦その他	安心安全なYOROZU相談所開催事業	聴くミミ「暮らしのYOROZU相談所」	490	法律・暮らしの無料相談会について、「相談しやすい空間」づくりを目指し、子供のいる若い親世代も子供を預けられるようベビーシッター等を配置するとともに、人目に付きにくい郊外の広いレンタルオフィスを開催場所とする。 【事業内容】①安心安全なYOROZU相談所の開催 ②宣伝広告

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額 (千円)	事業計画の概要
8	弘前市	②技術開発	AIを活用した津軽弁から共通語への変換システム開発	国立大学法人弘前大学	906	AIを活用した方言と共通語の双方向の音声・文字変換システムにより、県民と県外や国外出身者との間の円滑なコミュニケーションを実現すること、及び、津軽弁を収集してアーカイブとして保存するとともに、未来に活用できる基盤を整備することを目的として、津軽弁の文字情報(文例)、音声情報の収集を行う。 【事業内容】①音声情報の収集及びアンケート ②音声情報収集のためのPR ③既存音声認識システムの試行と利活用手法の検討 ④AIを活用した音声・文字情報変換システムの開発
9	弘前市	③商品開発	りんごやさくら和紙を用いた新商品開発事業	りんご／さくら和紙研究会	1,980	未利用資源であり、青森の観光資源でもあるりんご及びさくらから発生する剪定枝を用いて抄紙(和紙)を作成し、新しい価値を創造することを目的として、抄紙(和紙)の紙製品や工芸品などの試作を行い、首都圏の展示会をはじめ、県内外へのPRを行う。また、新しい観光資源として、紙漉体験ツアーなどの企画開発を行う。 【事業内容】①紙製品の商品開発 ②観光資源の開発 ③ブランド化に向けた検討と普及広報活動
10	弘前市	④市場・販路開拓	弘前工芸協会展とライブコマース	弘前工芸協会	1,214	コロナ禍に対応した地域工芸品の販路拡大を目的に、Eコマースサイトを立ち上げるとともに、作家自身がライブ動画に出演し、商品の魅力を伝える等の販売促進活動を実施することで、認知度アップや売上向上を図る。 【事業内容】①ECサイト、ライブコマースサイトの立ち上げ ②ECサイトへの参加者とライブコマースへの参加者募集 ③弘前工芸協会展とライブコマースの実施 ④弘前工芸協会オリジナルの包装紙、段ボールの制作
11	弘前市	⑤観光開発	映画「ジャパディグニティ」ロケツアーリズム事業	弘前フィルムコミッション実行委員会	1,004	弘前市の更なる知名度アップと誘客拡大を目的に、映画を通じた県内外へのシティプロモーション及び映画舞台めぐり等による地域活性化とともに、作品を通じて市民が地元の魅力を再発見できる取組を実施する。また、本映画は津軽塗をテーマにした親子の物語でありことから、伝統工芸品「津軽塗」の素晴らしさにもスポットを当てた取組とする。 【事業内容】①映画「ジャパディグニティ」の舞台へようこそ！PR ②映画「ジャパディグニティ」舞台の市民向けPR
12	弘前市	⑤観光開発	街中のりんごを探せ！事業	(公社)弘前観光コンベンション協会	1,604	日本一のりんごの生産地の「りんごの街」のイメージを更に強かに情報発信するため、街歩きの新コンテンツとしてりんごポップアートにスポットを当てブラッシュアップすることを目的に、SNS等を活用した情報発信やりんごのオブジェ・デザインを更に増やしていくためのモデル展示を行う。 【事業内容】①街中のりんごを探せ！情報発信事業 ②街中のりんごを探せ！モデル事業
13	弘前市	⑤観光開発	弘前・函館連携推進事業	ひろはこ連携推進実行委員会	2,000	北海道応援キャラクター「雪ミク」を弘前市と函館市の連携事業のキャラクターとして、冬期間に両市で展開するイベント等での活用に加え、スマートフォンアプリによる両市周遊ラリーを実施し、相互誘客を図る。 【事業内容】①弘前・函館「雪ミク」連携
14	弘前市	⑥スポーツ・文化交流	子供ビッグバンドの設立～子供と音楽の力で青森県の未来を変えるプロジェクト～	特定非営利活動法人ジャズネットワーク	659	中学生・高校生たちの社会性と、豊かな心を育むこと目的に、「子どもビッグバンド」を設立し、将来の青森県の文化・音楽の発展を目指した長期的な音楽教育を実施する。 【事業内容】①生徒の募集PR ②バンド結成式、練習開始 ③地域イベント、発表会の実施・動画配信、SNSを利用した活動風景の発信

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額 (千円)	事業計画の概要
15	弘前市	⑥スポーツ・文化交流	『Connect + Dance in Hirosaki Project 2022』	ひろさき芸術舞踊実行委員会	2,000	「ダンスを通してエモーショナルな経験ができる町・弘前」のイメージを作ることを目的に、国内外のゲストに加え、多くの市民参加者とともに映像作品を作るイベントを立ち上げ、スポーツ文化ツーリズムにつながる新たなコンテンツを作る。 【事業内容】①津軽伝統文化を活かしたオリジナル音源の制作 ②弘前市内の名所を活かした映像制作イベント開催 ③SNS及びYouTube、WebでのPR活動
16	弘前市	⑦その他	りんご娘が高密植栽培でりんごを栽培	「りんご娘」が本気で応援する“りんご農家活性化プロジェクト”実行委員会	1,675	地域の基幹産業であるりんごクラスターを守り、育てることを目標に、「作業負荷の少ない高密植栽培の普及促進」「若年層・女性層のりんご生産参加への障壁低減」「あおもりりんご全体のイメージアップによる高付加価値化実現」を推進するために、りんご娘が自前の農園でりんご作りに取り組む様子をWEB番組で配信する。 【事業内容】①高密植栽培によるりんご作り ②高密植栽培に取り組む様子をWEB番組で配信
17	弘前市	⑦その他	地域医療に貢献されている医療従事者の方々をお呼びした学生による市民健康講座	学生団体 CoCo-Cam	381	地域住民の方々への正しい医療情報の普及のために、健康、医療に関する様々なテーマでの講演会やシンポジウムを行う。医師などの専門家と住民の間を医学生が仲介し、「双方向性」や「わかりやすさ」を重視する。また、医学部に社会人の経験を経て編入してきた医学生とのシンポジウムにより、進路選択に迷っている中学生や高校生に対しての進路支援を行う。 【事業内容】①健康・医療に関する講座・座談会・シンポジウムの開催
18	八戸市	①人材育成	在住外国人日本語能力試験対策講座	特定非営利活動法人みちのく国際日本語教育センター	451	県南地域の外国人技能実習生や外国人就業者等の日本語の向上を目指している人たちが、日本での生活や仕事をより充実したものにできるように支援していくため、新たに日本語能力試験対策講座を開講し、日本語の学習機会の拡大を図る。 【事業内容】①日本語能力試験対策講座 の開設、実施
19	八戸市	①人材育成	寛容性ある社会づくりのための研修プログラム開発事業	遊Viva! 熊ノ沢プレーパーク推進委員会	268	ボランティアスタッフの理念教育・育成を進め、地域内で「寛容性ある社会づくり」への理解を深め実際の行動に移せる人財育成・輩出を進めるとともに、地域一丸となってより良い地域性の構築を進めるべく、自然体験型学習事業「プレーパーク」の実施とともに、ボランティアスタッフ教育研修プログラムの開発と展開を行う。 【事業内容】①自然体験型学習事業「プレーパーク」の実施、PR ②ボランティアスタッフ教育研修プログラムの開発、展開
20	八戸市	④市場・販路開拓	八戸地域「あおもりPG」情報発信強化事業	一般社団法人あおもりPG推進協議会	771	八戸地域における「あおもりPG」の認知度向上と販売拡大を図るため、バイヤー視点からの協議会の情報発信の強化と情報発信拠点の開設により、県内会員の「あおもりPG」商品の持続的な販売活動を支援する。 【事業内容】①「あおもりPG」情報発信強化委員会の設置 ②「あおもりPG商品」販売PRイベントの集中開催 ③「あおもりPG」ハンドブックの制作 ④「あおもりPG」情報発信拠点店舗の開拓
21	八戸市	⑥スポーツ・文化交流	「移動型・組立式の山車」運行・運営事業	はちのへ山車振興会	1,982	クラウドファンディングにより製作した市外イベントに出張できる山車について、市外のイベントに参加して山車の運行を行うことで祭りの魅力を発信するとともに、市民が「地域の宝」を誇りに感じられる機会を創出するため、八戸三社大祭でも特別運行する。 【事業内容】①「移動型・組立式の山車」展示・運行

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額 (千円)	事業計画の概要
22	八戸市	⑦その他	八戸市是川地区の活性化を目指した『憩いの場』プロジェクト	是川新鮮おおぞら市	1,030	長年使用されていなかった空き店舗をリノベーションし、住民が気軽に立ち寄れる地域交流施設「憩いの場」を開設することで、子どもからお年寄りまで誰でも気軽に立ち寄れる場として教室やイベントを開催するほか、是川石器時代遺跡の情報発信や「是川縄文トレイル」の発着地点、案内所としての機能を持たせることで、世界遺産登録を契機とした来訪者へのおもてなしに資する取組も進める。 【事業内容】①憩いの場の整備 ②憩いの場の周知と活用拡大 ③憩いの場を拠点とした地域づくり活動の情報発信
23	黒石市	①人材育成	有機農業推進事業	くろいし有機農業推進協議会	1,998	持続可能な有機農業の技術習得を推進するため、試験圃場を設置し、コンサルを入れて実践しながら考察を行う。また地域資源を活用した循環型農業の構築に向けて、地域内資材の分析や考察、土壌診断、生産品の成分/栄養価の分析など、今まで勘頼りだった部分からの見える化を推進する。 【事業内容】①BLOFインストラクターによる栽培コンサルティング ②土壌、資材、生産物の要素分析 ③有機農産物生産工程管理者、小分け業者等の個人認証の取得 ④有機農業先進事例の視察研修
24	黒石市	⑥スポーツ・文化交流	ストリートフェス SUMMERJAM	SUMMERJAM 実行委員会	1,659	ストリートフェスおよびSNSを通じて黒石市の交流人口拡大を図り、「黒石」を知ってもらうきっかけを作るとともに交流人口の増加による地域への経済波及効果を狙う。 【事業内容】①ストリートフェスSUMMERJAMの実施 ②SNSによる黒石の魅力発信
25	五所川原市	②技術開発	十三湖鳥獣被害実態調査及びドローンを活用した鳥獣対策実証実験事業	十三湖鳥獣被害対策研究会	1,250	本県水産業の主要品目であるしじみの漁獲量が減少している要因の一つとして、渡り鳥「キンクロハジロ」(カモの仲間)の飛来があると見込まれることから、ドローンによるキンクロハジロ追い払い実証実験を行い、鳥獣被害対策技術を確立する。 【事業内容】①ドローンによるキンクロハジロ追い払い実証実験、実証実験報告書作成
26	十和田市	③商品開発	十和田産の野菜を原材料にした乾燥野菜の商品開発・販売拡大	十和田乾燥野菜の会	794	野菜の旨味と香りがアップし、抗酸化性も増加させる光照射乾燥方法による十和田産野菜を原料とした商品(粉末、調味料等)を開発し、B級品野菜を材料として使用することで、野菜を無駄なく使用できるとともに、お土産品として全国に販売できるようレシピも紹介する。 【事業内容】①照射乾燥野菜の開発 ②乾燥野菜粉末およびブレンドした加工品の開発 ③野菜果実を原料とした機能性食品の商品開発 ④販売促進への取り組み
27	十和田市	⑤観光開発	アートのある地域づくり事業	一般社団法人 十和田奥入瀬観光機構	1,115	これまでの「街なかアートマルシェ」の更なる定着化、認知度向上を図るため、新たに実行委員会を組織し、出店者が主体となった観光地域づくりを実現する。また、マルシェでは、実店舗の新メニュー・新商品のお披露目の場の創出や、より広域的な取組として交流人口を増加させるため、コーヒーマルシェやアニマルマルシェを開催する。 【事業内容】①「街なかアートマルシェ」の定期開催 ②「街なかイルミマルシェ」の開催
28	十和田市	⑤観光開発	十和田湖湖水まつり スカイランタンに願いをこめて 開催事業	十和田湖湖水まつり実行委員会	2,000	ニューノーマルに対応した新しい十和田湖湖水まつりの確立を目的として、新開発のスカイランタン2200個の打ち上げと花火プログラム、マルシェ、ナイトクルーズを組み合わせたイベント「十和田湖湖水まつり スカイランタンに願いをこめて」を開催する。 【事業内容】①ランタン制作 ②会場制作 ③花火の打ち上げ ④広報業務

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額 (千円)	事業計画の概要
29	三沢市	④市場・販路開拓	三沢産魚介類の地産地消及び販路拡大パイロット事業	三沢市漁業協同組合	2,000	産直施設の設置に向けたモデル事業として、やさい市場での三沢産魚介類の販売を行う。また、採算性の向上のため、地域団体商標登録となった「三沢屋いか」を活かし、飲食店と連携することで、やさい市場での魚介類の販売拡大を図る。 【事業内容】①三沢産魚介類の地産地消及び販路拡大パイロット事業 ②飲食店の連携による消費拡大
30	むつ市	②技術開発	下北プチぶよブランド化に向けた生産技術の向上と販売力強化	下北プチぶよ研究会	960	プチぶよの安定的な生産と販売力強化を目的に、コンサルティングを活用して生産技術や収量向上に努めるとともに、習得した知見等をもとに栽培マニュアルを作成し、新規作付者の拡大を図る。 【事業内容】①栽培コンサルティングによる技術力の向上と栽培マニュアルの完成
31	むつ市	⑤観光開発	本州最北端の下北から最先端のTHE SHIMOKITAへ！海と森を楽しむアドベンチャーリズム構築事業	特定非営利活動法人シェルフォレスト川内	551	むつ市川内での観光客の滞在時間を延ばし、リピーターを獲得することを目的に、また、令和3年度研修を受けた大学生の実践の場として、地域全体の自然と文化を体験できるツアープログラムの造成を行う。 【事業内容】①水上アクティビティのエリア拡大 ②地域の特色を生かしたアドベンチャーツアーのパッケージ化
32	むつ市	⑦その他	本州最北 DANCE CONTEST MASAKARI 2022 開催事業	むつ中央商業協同組合	2,000	むつ市中央町の賑わい創出、街づくりを目的にダンスコンテストを開催する。令和2、3年度に中止したことを踏まえ、ダンスコンテストの審査においては、コロナ感染拡大等を考慮し、専門家の審査のみに頼らず、現場の来場者によるオーディエンス審査を実施する体制とする。また、仮に感染拡大により実施できない場合に規模を縮小するなど延期を可能とする柔軟な体制で実施する。 【事業内容】①DANCE CONTEST KASAMAI 2022(予選) ②本州最北 DANCE CONTEST MASAKARI 2022(決勝)
33	むつ市	⑦その他	AIR In MutsuKawauchi(滞在型地域連携アートプロジェクトむつ川内)	むつ市	1,706	絵画制作のほか、アートスクール、スケッチ画展示会、ふれあいトークを実施し、大学教授を招いて講演会を開催し、市民の文化意識の向上を図る。また、地域住民の交流機会の増加、地域の魅力を再発見し、地域の活性化を目指す。 【事業内容】①芸術家、学生の招聘 ②絵画制作 ③作品展示 ④地域ふれあい活動
34	平川市	⑥スポーツ・文化交流	平川トライアスロン大会	平川鉄人会	420	スポーツを通じて青少年の健全な育成に寄与すべく、平川市で主に青少年を対象にしたトライアスロン競技開催する。新設した平川市陸上競技場及び周辺の施設を有効利用し、安全・円滑な大会運営によって、開催地区のイベントとして市民や参加者に認識されることを目指す。 【事業内容】①大会開催までの準備等 ②大会の開催
35	平内町	⑥スポーツ・文化交流	平内BMXパーク	平内町商工会	1,584	平内町の様々な祭り等において子どもが楽しめるイベント「BMXプレイパーク」(パンptrack)を移動組立式で設置し、子どもたちが自転車を安全に楽しく乗る方法を学ぶことができるようにするとともに、コース(パンptrack)をスキー等のオフレジャーにも有効に活用するなど、オリンピック種目となったBMXの基礎を体験でき、老若男女が遊べるようにする。 【事業内容】①インストラクター養成講座(3名) ②パンptrack・ストライダ体験会を運営 ③パンptrackの増設・レンタルバイクの増設 ④平内町実施のイベントへ出展 ⑤PR用Webサイトの開設

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額 (千円)	事業計画の概要
36	蓬田村	②技術開発	蓬田たまねぎブランド化推進事業	蓬田たまねぎ生産組合	1,043	県内トップクラスのたまねぎの産地化として作付面積10haを目指し、水稲と競合しない秋植え栽培を中心に春植え栽培にも取り組みながら安定的な収穫量を確保し、県内幅広く、スーパー等への販売や業務用の販路拡大に向けた出荷方法等を検討する。 【事業内容】①産地化に向けた先進地視察 ②ブランド力強化に向けた販売戦略 ③農家の所得向上及び産地拡大に向けた収穫機等のリース導入
37	鱒ヶ沢町	⑦その他	未来へつなぐ「津軽の京祭り」～白八幡宮大祭文化振興事業～	白八幡宮大祭文化保存会 鱒ヶ沢町教育委員会	1,082	鱒ヶ沢町で4年に1度開催される伝統行事「白八幡宮大祭」の保存・伝承を目的に、子どもたちへの学習会、展示・HP制作等のPR活動、大祭の動画作成等を行う。 【事業内容】①大祭文化伝承のための学習会 ②大祭文化の魅力発信・PR ③大祭文化保存・伝承のための記録作成
38	西目屋村	⑤観光開発	世界遺産白神山地の魅力再発信事業	道の駅津軽白神活性化協議会	792	令和5年に世界遺産登録30周年を迎える世界遺産白神山地の魅力再発信を目的として、西目屋村に点在する観光地やコンテンツを発信するため、集客性のあるイベントを開催する。令和4年を登録プレ期間、令和5年を登録記念期間、令和6年を登録アフター期間に設定し、西目屋村全体をフィールドにしたイベントとして開催する。世界遺産登録記念を機に観光地や魅力あるコンテンツを再発信をする。 【事業内容】①白神山地の麓で行うイベントの開催 ②イベントのPR
39	板柳町	⑥スポーツ・文化交流	いたやなぎオン活祭！板柳町 PR 動画コンテスト事業	いたやなぎ地活プランニング	1,400	板柳町の魅力発信を目的に、全国からプロアマ問わずに募集をかけて板柳町のPR動画コンテストを開催し、これまで板柳町を知らなかった人が動画を制作することで町の魅力を知る契機づくりになり、コンテストを見ることで「この町を訪れたい」という方が増加するにより、関係人口を増やしていく。また、オンライン配信することで、密を防ぎ、全国各地どこからでもこのコンテストの内容を閲覧できるよう実施する。 【事業内容】①コンテスト～いたやなぎいたやなぎオン活祭！2022～ ②オンライン販売&クラフト展
40	中泊町	③商品開発	町特産物を活かした観光商品開発事業	中泊町農産物加工販売施設出荷者協議会	1,718	「大地の恵」である中泊町の農産物の魅力を町内外に発信するため、地産地消の更なる推進に加え、観光客へのおもてなしを目的として、農産物加工の体験型メニューと土産品の開発を行う。 【事業内容】①農産物加工の体験型商品の開発 ②旧家宮越家関連の土産品の開発
41	中泊町	⑤観光開発	観光資源及びコンテンツの再構築事業	中泊町	1,859	中泊町の観光資源及びコンテンツの再構築を目的に、宮越家「離れ・庭園」を中心とした新規観光モデルコースの作成、各施設等の利活用に向けた調査・検証を行う。体験する観光商品の造成するため、新たな体験プログラムを作成し、また、新たに作成した観光モデルコースの検証を行うためのモニターツアーを実施する。 【事業内容】①宮越家「離れ・庭園」を中心とする新規観光モデルコースの作成 ②新たな体験プログラムの造成とモニターツアーの企画及び検証
42	七戸町	①人材育成	ふるさと高校生躍進交流事業（しちのへ今昔ロゲイニング大会2022プロジェクト）	アーカイブしちのへ	101	高校生が地域の歴史や文化、魅力を知り、地域の活性化に向けて取り組む「地域の次代を担う人財育成」や、県外・町外の方が七戸町の魅力に触れ、発見する機会の提供を通じて、経済効果獲得、交流人口・関係人口（リピーター）の拡大に資する「しちのへファンづくり」を目的に、高校生が主体的に取り組むロゲイニング大会を開催する。 【事業内容】①ふるさと講演会・ロゲイニング説明会 ②ワークショップ ③しちのへ今昔ロゲイニング大会2022 開催・運営 ④まちなか写真展・報告

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額 (千円)	事業計画の概要
43	七戸町	⑥スポーツ・文化交流	音楽フェス『シチノヘオトマツリ』	ナナラボ	269	音楽イベントを通じて若年層をメインに幅広い層が商店街に足を運び楽しめる場を作る事を目的として、町の各団体と連携を取り、これまでにない新しいイベントとして音楽フェスを作り上げる。 【事業内容】①音楽フェス告知・準備 ②音楽フェス会場設置・撤去 ③会場・ステージ運営 ④ライブ配信 ⑤今後の開催に向けたPRと情報収集
44	階上町	④市場・販路開拓	階上アブラメブランド化推進事業	階上町	2,000	階上町の魚として制定した「アブラメ」のブランド化を目的として、資源確保や消費拡大に取り組む。資源確保では、主にアブラメの特徴や魅力、生態など基礎的なデータを収集し、安定的な供給のための資源保護にも取り組む。 消費拡大では、主にアブラメの魚食普及と認知度向上を図るため、販売・提供を視野に入れながら、消費者ニーズを意識した商品を開発する。 【事業内容】①資源管理 ②消費拡大
45	新郷村	⑤観光開発	「新郷村×ムー ミステリーキャンプ」	一般財団法人新郷ふるさと活性化公社	1,200	様々なミステリー、オカルト伝説を有する青森県の観光資源の発掘とアフターコロナ後の観光客の取り込みを図るため、アウトドアブームと組み合わせ、新たなレジャー開発、提案を目指す。 【事業内容】①新郷村×ムー ミステリーキャンプ
46	東青	④市場・販路開拓	津軽海峡交流圏の形成強化事業	津軽海峡ブランド商品開発実行委員会	2,000	津軽海峡ブランド認証商品の10年目の集大成として、合同プロモーションを実施し、デジタル化を活用した広域的に情報発信により、更なるブランド強化を図る。また、津軽海峡地域の特産品を食材とした名物料理を開発することとし、モデル地域を選定し、未開発地域の掘り起こしを行って、関係団体と一体となって、地域ブランドの育成を図る。 【事業内容】①津軽海峡ブランド認証事業 10年の集大成 ②まち興し名物料理モデル地域 選定
47	東青	⑤観光開発	むつ湾広域連携観光振興事業	むつ湾広域連携協議会	2,000	これまでに造成した周遊コースは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加型イベントを開催できなかったことから、周遊コースの認知度を高め、陸奥湾沿岸市町村への誘客を図ることを目的にイベント開催を通じて実際に各種コースを体験してもらいイベント開催とともに、参加者によるSNSなどを通じた情報拡散を図る。 【事業内容】①むつONEリレーウォーク開催事業 ②むつ湾サイクルロゲイニング開催事業
48	西北	②技術開発	未利用の地域産品を活用したウニ陸上養殖技術開発事業	西海岸二町水産振興協議会	800	他県で開発されたウニの陸上養殖技術を参考に、鱒ヶ沢町の特産品である「スイカ」や深浦町の名産品である「雪ニンジン」について、生産過程において規格外で出荷できないもの等、未利用の地域産品を活用し、陸上で「空ウニ」に餌として与え蓄養する技術を開発し、新たな地域の名産品の一つとして販売できるようにすることで、漁業生産の向上と地域の活性化を目指す。 【事業内容】①ウニ陸上養殖試験 ②商品化に向けた品質評価
49	下北	④市場・販路開拓	海峡サーモン®一本当たりの付加価値向上による豪雨災害からの復活	北彩漁業生産組合	2,000	BtoC商品への加工により、サーモン一本当たりの単価を向上させるため、うろこ、骨を取り除いた切身を焼き加工した「海峡サーモン焼魚」の新開発とともに、むつ下北地域の域内連携として地域特産品との同梱ギフトセットの商品開発を行い、展示商談会への商談活動等により販路開拓を進める。 【事業内容】①新商品開発及びPR媒体整備 ②新商品の販路開拓

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額 (千円)	事業計画の概要
50	下北	⑦その他	繋げる郷土愛 多業種参加による新しいしもきたマルシェ	しもきたマルシェの会	832	生産者と消費者の交流の場づくりによる地産地消の推進を目的に、参加型マルシェの開催とマルシェの新たなファンづくり活動に取り組む。 【事業内容】①地元企業等団体を巻き込んだ参加型マルシェの開催 ②マルシェの新たなファンづくり活動
51	津軽	①人材育成	津軽広域観光マップが育てる人財育成事業	一般社団法人 Clan PEONY 津軽	2,000	これまでに作成した広域観光マップにQRコードを掲載してのアンケート調査による圏域内の移動等の検証や、今後復活するインバウンド需要に対応するための多言語化対応広域観光マップを作成する。また、各市町村担当者や観光施設職員が、観光施設を紹介できるスキルや動画制作の手法を学び、紹介動画を各市町村HPやSNSにアップする。 【事業内容】①アンケート調査 ②多言語マップ制作 ③紹介動画制作
52	津軽	③商品開発	世界遺産白神山地周辺のナラ等広葉樹材の利用に向けた商品開発とブランディング事業	白神オークプロジェクト	1,443	県産広葉樹材の付加価値向上と木材関連地場産業の育成および地域活性化を目的に、更新伐により産出したナラ材などの県産広葉樹を原材料とした木製品の商品開発とブランド化展開を行なう。 【事業内容】①原木丸太の確保・製材・乾燥 ②試作品の設計・製作及びモニタリング展示 ③プロジェクト及び商品のPR活動
53	津軽	④市場・販路開拓	作り手と使い手をつなぐデザイン家具の販路開拓事業	作り手と使い手をつなぐデザインプロジェクト	2,000	2か年の家具の作品試作を踏まえ、これら作品を流通や収納を前提に、コンパクト化、組み立て可能な作品にブラッシュアップする。また、我々クリエイターが作品の使い方、楽しみ方を説明、提案する数分の動画とチラシ、パネルを作成し、『東京インターナショナル・ギフト・ショー春2023』へ出展することで、作品のファンをつくり、卸小売企業との連携を進め販路拡大を図る。 【事業内容】①試作作品のブラッシュアップとPR媒体作成 ②大型展示会出展による販路開拓
54	津軽	⑤観光開発	ヤッてまれ-津軽広域観光誘客・交流プラットフォーム整備事業	一般社団法人 サイクルエクスプローラーあおもり	1,255	津軽広域の「観光誘客」「地元交流」のプラットフォーム創りを目指して、初心者や家族連れも楽しめるサイクリングイベント「ヤッてまれライド」を開催する。また、イベントは、「参加者の安全確保」、「幅広い客層の誘客」、「おもてなしを意識した会場づくり」を目標に取り組む。 【事業内容】①参加者の安全誘導・動静管理・即応支援の整備 ②地域観光の情報発信と幅広い客層の誘客の強化 ③地域への親しみアップとおもてなし
55	津軽	⑤観光開発	観光商品「岩木川リポートレース」の開発と拡販事業(3年目)	岩木川観光商品開発協議会	2,000	岩木川の自然景観、流域の人々の暮らしなどをインバウンド向けに観光商品化するため、令和3年度の課題であるカヤックの安全対策、ガイドスキルの向上、台湾旅行社へのPR活動に取り組む。 【事業内容】①コースの調査及び設定 ②ガイド育成及びスキルアップ ③観光商品化 ④台湾PR活動
56	津軽	⑥スポーツ・文化交流	津軽の食と産業まつり20回記念スポーツフェスティバル	津軽の食と産業まつり運営協議会	2,000	津軽の食と産業まつりの集客イベントとして、弘前市運動公園内はるか夢球場並びに球技場にて「弘前アレッズ」、「ブランデュー弘前FC」によるスポーツイベントを開催する。 【事業内容】①リアル野球盤大会 ②サッカーフェスティバル



事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額 (千円)	事業計画の概要
57	県南	②技術開発	青森県の地域産業振興を目指したミネフジツボの養殖技術開発	八戸セシルラボ	1,747	<p>稚ミネフジツボ生産効率の安定化を目的に、フジツボが付着しやすい構造を持った樹脂板を用い、植物プランクトンの供与方法を最適化し、安定的な稚フジツボ生産技術を確立する。また、フジツボ養殖技術の普及のため、八戸市鮫浦にてフジツボ養殖の実証試験を行うとともに、収穫されたフジツボの市場性検討を行う。</p> <p>【事業内容】①稚ミネフジツボ生産効率の改善 ②新規技術に基づく養殖採算性検証 ③養殖フジツボの市場性の検証</p>
58	全県	①人材育成	国際救助犬とそのハンドラー育成のための環境づくり	特定非営利活動法人 北東北捜索犬チーム	892	<p>新たに県内で国際救助犬認定試験を開催することや救助犬とハンドラーの底辺拡大を目指し、専門家の招請や県外の上級認定試験研修へ参加する。</p> <p>【事業内容】①国際救助犬の認定試験を西目屋村で行うための実地踏査 ②国際救助犬をリードするB段階試験(上級)合格のための技術習得 ③国際救助犬の拡大に向けた講演会の開催</p>
59	全県	①人材育成	地域の企業等と一緒に育てる未来のものづくり人材育成事業	一般社団法人青森県発明協会	243	<p>子どもたちの豊かな科学的発想や創造性を育むことを目的に、地域の「ものづくり」企業の技術者等による、科学・工作体験授業を実施する。</p> <p>【事業内容】①地域の企業がやってくる！科学・工作体験授業</p>
60	全県	①人材育成	中小企業での人材の確保・定着の強化に向けた経営者支援事業	青森県中小企業家同友会	563	<p>県内中小企業経営者が人材育成に関して日常的に取り組むための意識付けと理解・学びを深めることを目的に、現在の若者の育成に見識がある講師による講演会の開催や、県下5支部での人材育成に長けた経営者からの報告及びグループ討論、企業PR動画の共同作成(25社)を実施する。</p> <p>【事業内容】①中小企業経営者を対象とする講演会の開催 ②県下5支部での人材育成・定着シリーズセミナーの開催 ③企業PR動画の共同作成および動画視聴拡大に資するPR活動</p>
61	全県	①人材育成	ものづくりトレーナー等を活用した若年者の県内定着に向けたセミナー及び企業における人材育成事業	一般社団法人青森県工業会	812	<p>県内製造業の基盤技術の高度化による人材確保と定着化を促進するため、高い専門的な技術力を有する「ものづくりトレーナー」を活用し、就業前の学生を対象とするセミナーを開催するとともに、県内中小企業の実践的な指導機会により人材の確保と定着率の向上を図る。</p> <p>【事業内容】①人材確保・定着化推進委員会 ②技術研修事業(実業系教育機関) ③技術研修事業(県内中小企業) ④新技術習得に係る研修及び動向調査</p>
62	全県	①人材育成	あおもり食育検定オンライン講座実施事業	あおもり食育検定委員会	530	<p>青森県の農林水産物、郷土料理、食文化等について理解を深め、正しい食生活の理解による健康寿命の延伸を目的に、「あおもり食育検定公式テキスト2022」を刊行し、そのテキストをもとにオンラインでの「あおもり食育検定」対策講座を実施し、理解の促進を図るとともに、「2022年度あおもり食育検定」を実施する。</p> <p>【事業内容】①あおもり食育検定オンライン講座、検定の実施 ②あおもり食育検定公式テキスト2022の発行</p>
63	全県	①人材育成	日本遺産「北前船」の港魅力発信・3港連携プロジェクトと子どもガイド育成事業	野辺地町教育委員会	938	<p>日本遺産「北前船寄港地」に認定されている県内3町の教育委員会(野辺地町・鱒ヶ沢町・深浦町)が連携・協力し、日本遺産認定文化財や各地の歴史に関する認知度向上・集客を目的に、3町連携スタンプラリーやまちあるき、弘前駅でのPR展示を行う。また、次世代の歴史ガイド・地域資源活用人材を育成するため、町内小学校でのふるさと学習や連携地域への研修事業を行う。</p> <p>【事業内容】①「北前船寄港地」PR資料作成 ②3港PR活動 ③3町の人的交流と各町ガイドの育成 ④ふるさと学習による子どもガイド育成</p>

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額 (千円)	事業計画の概要
64	全県	②技術開発	りんご高密度植わい化栽培用トレリス導入推進事業	全国農業協同組合連合会青森県本部	1,800	JA独自トレリス設置様式のさらなる改善による設置技術の確立や現地適応性の把握と将来的な資材コスト低減や高密度植わい化栽培の早期普及推進に向け、県下各JAに普及モデル試験展示ほを設置する。 【事業内容】①トレリスの実用性・経済性の検討 ②トレリスの展示ほの設置・運営 ③トレリスの自家養成苗木・主力品種との適合性の検討
65	全県	②技術開発	牛の分娩開始通知システムの実用化促進事業	地方独立行政法人 青森県産業技術センター	1,189	農家負担の軽減につながる「牛の分娩開始通知システムの開発」に向けた技術的課題の克服を目指して、破水検知センサの形状改良や試作開発等に取り組む。 【事業内容】①破水検知センサの形状改良 ②破水検知信号の中継機及び受信機の試作開発 ③動物用医療機器一般的名称追加の承認相談
66	全県	④市場・販路開拓	青森県産菊芋を活用した機能性食品開発と販路開拓事業	青森県菊芋協会	2,000	本県産菊芋の付加価値化及び需要開拓のため、機能性表示食品の届出にかかる実務セミナーを実施し、届出受理の増加を目指す。また、市場開拓のため、県内の小売店でPRを行い、構成員各社で商品のブラッシュアップを行った上で、健康博覧会へ出展し青森県産菊芋のPRを行う。 【事業内容】①機能性表示食品の届出実務セミナー ②ブランド化に向けたPR ③展示会出展による販路開拓
67	全県	④市場・販路開拓	「できるだし」から発信！県民の健康寿命延伸事業	青森県だし活協議会	1,825	「できるだし」商品の安定的な活用と「だし活」の普及を目的に、新たに県内の飲食店と協力しながら「できるだし」定食を考案・提供し、レシピ動画を撮影してSNSで発信していくとともに、家庭でのだし活の実践拡大に向けてスーパーマーケット等において「できるだし」商品の試供品配布、試飲活動を行う。 【事業内容】①「できるだし」定食の考案・提供 ②「できるだし」料理の動画撮影及び情報発信 ③「できるだし」の試飲活動・サンプル品の配布
68	全県	④市場・販路開拓	「あおり和牛」のブランド構築に向けた消費宣伝事業	あおり牛販売促進協議会	2,000	あおり和牛の安定的な出荷とブランド構築を目的として、生産技術向上・情報収集・認知度向上のための試食会およびPRキャンペーンを県内外において行う。 【事業内容】①あおり和牛有料試食会の実施 ②他団体との連携によるキャンペーンの実施
69	全県	④市場・販路開拓	オンライン講座「青森りんごが食べたくなる講座」事業	一般社団法人青森県りんご対策協議会	2,000	青森りんごに関する深い知識や情報に触れたオンライン講座参加者による情報拡散、常にSNS等のWEB上で青森りんごの話題が提供され興味喚起を促すことを目的に、「青森りんごが食べたくなる講座」を実施する。 【事業内容】①オンライン講座「青森りんごがもっと食べたくなる講座」
70	全県	④市場・販路開拓	青い森紅サーモン認知度向上・消費定着対策事業	青い森紅サーモン生産部会	1,059	青い森紅サーモンのブランド化を目的に、生産・販売面での知識・ノウハウ獲得の為に先進地視察と、県内外へのPR活動事業を行う。 【事業内容】①産地力強化のための情報収集活動事業 ②販売促進・PR活動事業 ③情報発信力強化事業

事業番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額 (千円)	事業計画の概要
71	全県	④市場・販路開拓	青森きくらげ認知度向上・普及拡大対策事業	「青森きくらげ」生産・販売振興会生産者連絡会	944	青森きくらげの安定的な生産とブランド化を目的として、生産者の技術向上のための連携と、認知度向上・消費拡大のため県内外へのPRを行う。 【事業内容】①産地スキルアップ活動事業 ②売場PR活動事業 ③インターネットを通じたPR活動事業
72	全県	⑤観光開発	ニューノーマル時代の青森型MICEプロモーション事業	公益社団法人青森県観光国際交流機構	2,000	県内の世界遺産を活用したMICE向けプロモーション映像を制作し、落ち込んでいる県内でのMICE開催の誘致及び県内でのMICE実施時の満足度の向上によるリピーターの創出を図る。また、映像の制作にあたってはSDGsを意識した内容とし、県内でのMICE開催における魅力を発信できるものとする。 【事業内容】①青森型MICEプロモーション映像の撮影・制作
73	全県	⑥スポーツ・文化交流	あおもりグリーンライドin夏泊(第56回東北ラリー)	青森県サイクリング協会	700	浅虫温泉を中心として、自転車で夏泊半島を一周走行を行うイベント「あおもりグリーンライドin夏泊(第56回東北ラリー)」を開催する。途中、浅虫水族館、夜越山の見学を経て、開会式・閉会式等で参加者の親睦を図りつつ、地元の特産品等の紹介を行う。 【事業内容】①大会開催に向けての募集とPR ②コース等の安全確認 ③大会運営
74	全県	⑥スポーツ・文化交流	青森県障がい児・者サッカー大会開催事業(コロナ禍における新様式開催)	特定非営利活動法人レアリスナルスポーツクラブ	499	誰でも気軽に参加できるサッカー大会「青森県障がい児・者サッカー大会につこにこフェスタあおもり」及び大会運営に係る専属審判団の育成講習会を開催するとともに、今後の大会開催について協議する障がい児・者サッカー大会あり方検討会を実施する。また昨今の新型コロナウイルス感染症対策をより強固に推し進めることで、新様式に対応した大会実施モデルを確立する。 【事業内容】①青森県障がい児・者サッカー大会の開催 ②審判講習会の開催 ③大会実施検討会の実施
75	全県	⑥スポーツ・文化交流	「八戸イカール国際音楽祭」～青少年のための国内外一流音楽家交流・育成事業～	特定非営利活動法人日本アーツプロジェクト	2,000	青少年のための国内外一流音楽家交流・育成のため、青少年や一流アーティストを八戸市へ招き、相互交流・学習し合いながら、音楽文化の向上・発展を目指すとともに、新たに八戸ジュニアオーケストラへの指導を行う。観客入りのホールを使い公開レッスンや公開講座を1週間にわたり開催し、最後には演奏会形式で成果を発表することとし、演奏会は国内・海外へLive配信する。 【事業内容】①青少年対象・国内外一流音楽家との交流事業 ②告知PR
76	全県	⑥スポーツ・文化交流	あおもりJOMON GYOMOプロジェクト	あおもりJOMON GYOMOプロジェクト実行委員会	2,000	縄文時代の特色である「定住」をキーワードにした芸術文化体験・鑑賞の取組として、令和2年度から青森県と東京芸術大学で実施しているプログラムをとおして制作した漁網作品を繋ぎ合わせ、県民協働の象徴的な縄文作品(大型漁網作品)を制作し、作品を活用した取り組みを行う。 【事業内容】①作品制作・展示事業(県民協働による象徴的な縄文作品の制作・展示) ②地引網漁体験事業 ③植栽体験事業
77	全県	⑦その他	青森県小児がんの子ども・家族のサポート活動	tomoshi+	701	青森県内に小児がんのサポート団体を新たに設立し、小児がんの子どもとその家族のサポートとなる活動を行い、専門家とは違う目線で新たな課題を発見し情報共有していくため、コロナ禍に対応したオンラインでの活動とともに、対面式によるサポート活動を強化する。 【事業内容】①小児がん啓発イベント「ともしびプロジェクト」の開催 ②小児がんサイト「リンクともしび」での情報発信 ③団体広報、広告資料の作成 ④弘前大学付属病院「ういず」及びよつ葉会の開催
計					100,754	